

## 「峰が丘地域貢献ファンド」事業資金設立趣意書

本学は、平成16年4月の国立大学法人への移行当初から「地域に学び、地域に返す、地域と大学の支え合い」をモットーとして、地域貢献に資する人材の育成を通じて、国内外の多様な要請にも応え得る人材の育成を目指しています。

一方、国からの財政支援（運営費交付金）は、毎年度、効率化係数が課されており、経営基盤（財政基盤）の充実が喫緊の課題となっています。このため、本学は平素から科学研究費補助金等の競争的資金、地元企業等からの奨学寄付金や共同研究費等の確保に努めているところです。

しかしながら、外部資金による学生支援や教育研究環境整備には限りがあり、平成17年12月の学長就任時から財政基盤拡充の一環として「本学独自の基金」の創設を模索していましたところ、この度、本学のメインバンクである足利銀行及び冠講座提供会社である野村證券のご支援・ご協力を得て「国立大学法人宇都宮大学「峰が丘地域貢献ファンド」」（通称：峰が丘地域貢献ファンド）を設けることとなりました。

なお、こうした取組は、他大学にはない本学独自の特色ある取組となっています。

「峰が丘地域貢献ファンド」の事業概要は別添イメージ図のとおりであり、賛同者（資金拠出者）からの拠出金及び本学資金を運用財源として、運用益（利息）を地域貢献事業などに参加する学生に奨学金等を給付します。

拠出いただいた金銭の運用については、国債・地方債等元本確定の債券等により賛同金融機関（自己資金の運用先は本学内規に基づき決定）において行い、運用益の用途は外部有識者を含めた委員会において決定し、拠出金及びその運用状況、用途（予定・実績）については定期的に賛同者（資金拠出者）に報告するとともにホームページ等で開示します。

なお、拠出後、賛同者の都合により解約される場合は、本学より全額返還いたします。

以上、本事業資金を有効に活用し、地域の方々のご理解を賜りながら、地域ひいては国内外に貢献できる人材の育成に努め、特色ある大学創りに本学教職員一同邁進して参りますので、地域の皆様はもちろんのこと、民間企業、保護者、同窓生等の本学関係者を含む多くの方々におかれましては、本事業に対する趣旨をご理解いただき、ご賛同いただきますようよろしくお願いいたします。

平成18年6月29日

国立大学法人宇都宮大学  
学長 菅野 長右エ門